

# Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

## 〈目 次〉

〈理事会報告〉

I 各種委員会報告

II 審議事項

(1) 第 22 回大会（北海道大会）について

(2) 次期理事選挙について

(3) 会員資格の事務処理上の取り扱いについて

III 事務局報告

〈事務局からのお知らせ〉

この度の東日本大震災にて被災された会員の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

重ねて、事務局作業に遅れが生じていますことをお詫び致します。事務局では、学会の円滑な運営に尽力して参りますが、会員の皆様にはご理解を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## — 〈 理事会報告 〉 —

[2011 年 3 月 5 日（土） 14:00～17:00（於） 東北大学東京分室]

定例理事会が 3 月 5 日（土）14 時から 17 時まで、東北大学東京分室で開催されました。理事 20 名、および事務局 3 名が参加しました。水原克敏代表理事挨拶に続き、下記の議題を審議・決定いたしました。

### I. 各種委員会報告

(1) 紀要編集委員会（臼井嘉一委員長・的場正美副委員長）

- ・『カリキュラム研究』第 20 号への投稿論文状況と掲載論文についての報告があった。
- ・『同』第 20 号において、投稿規程の改訂が掲載されることが確認された。
- ・『カリキュラム研究』における論文投稿に関して、研究論文と実践研究論文の区分に対する提案がなされた。まずは両者を相互に異なった性格を有する論文として区分を行っていくことで方針を確認し、理事会にて本提案が承諾された。詳細については、引き続き紀要編集委員会が検討を進めることを確認した。

(2) 国際交流員会（浅沼茂委員長・磯田文雄副委員長）

課題研究Ⅳについて、検討を行ったことが報告された。

(3) 広報委員会（村川雅弘委員長）

前回理事会（2010年11月）にて承諾された学会員拡大と広報のための「カリキュラム実践研修講座」（仮称）開催に関して、具体的な提案がなされた。理事会において実施方法等について検討が加えられ、引き続き広報委員会が企画を進めていくことを確認した。

(4) 研究委員会（豊田ひさき委員長）

課題研究Ⅱについてと、第2回研究集会の報告がなされた。

(5) 研究奨励賞審査委員会（臼井嘉一委員長・的場正美副委員長）

研究奨励賞の選出方法等に関して報告がなされ、今後理事会で方針を検討していくことを確認した。

## II. 審議事項

(1) 第22回大会（北海道大会）について

次期大会準備委員会の野栄三理事より、第22回大会に関して、大会一次案内（案）を元に提案がなされた。大会日程は、次ページの通りである。（HPにおいても掲載済）

その他、公開シンポジウム・課題研究Ⅰ～Ⅳについて活発な議論がなされた。現在、公開シンポジウムは、「カリキュラム研究のこれからと教科教育研究」を仮題としている。これについて、理事の方々より、課題設定をより明確にすることの指摘や提案、カリキュラム研究の立場からの意見などが出された。各課題研究についても、世話人の理事より進捗状況の報告があり、課題・提案者等について、意見が交わされた。

現在の案は、下記の通りである。

**課題研究Ⅰ** 「カリキュラム・マネジメントに関する研修プログラムの開発（その2）」

司会者：村川雅弘（鳴門教育大学）・工藤文三（国立教育政策研究所）

提案者：研修を受講した立場から…お二方交渉中

プログラム開発を研究する立場から… 佐野享子（筑波大学）

コメンテータ：天笠茂（仮）（兼世話人）

**課題研究Ⅱ** 「カリキュラムにおける公共性のポリティクス（2）」

学校教育におけるナショナルなものの位相を問う」

司会者：松下晴彦（名古屋大学）・澤田稔（上智大学）

提案者：佃繁（プール学院大学）・渡辺雅子（名古屋大学）

指定討論者：近藤孝弘（早稲田大学）

**課題研究Ⅲ** 「研究開発学校における評価のあり方」

司会者（兼世話人）：田中耕治（京都大学）・根津朋実（筑波大学）

提案者：研究開発学校の立場から…吉田信也（奈良女子大学附属中等教育学校）

教育課程行政の立場から…交渉中

研究者の立場から…三石初雄（東京学芸大学）

**課題研究IV** 「国境を越える基本的・基礎的学力の可能性」

提案者：交渉中

**公開シンポジウム** 「カリキュラム研究のこれからと教科教育研究」

シンポジスト：安彦忠彦（早稲田大学教育・総合科学学術院）・大田邦朗（千葉大学）・  
滝川洋二（東海大学教育開発研究所）

指定討論者：佐藤広也（石山南小学校）

## 大会日程

■ 前日 2011年7月15日(金) 17:00～19:00

理事会会場：北海道大学教育学部

■ 第1日 2011年7月16日(土) 9:30～受付

会場：北海道大学学術交流会館ほか

|       |          |         |
|-------|----------|---------|
| 10:00 | 課題研究 I   | 課題研究 II |
| 12:00 | 昼 食      |         |
| 13:30 | 自由研究発表 I |         |
| 15:30 | 休 憩      |         |
| 16:00 | 課題研究 III | 課題研究 IV |
| 18:00 | 移 動      |         |
| 18:30 | 懇 親 会    |         |
| 20:30 |          |         |

■ 第2日 2011年7月17日(日) 9:00～受付

会場：北海道大学学術交流会館ほか

|       |           |
|-------|-----------|
| 9:30  | 公開シンポジウム  |
| 12:00 | 総会・昼食     |
| 13:30 | 自由研究発表 II |
| 16:00 |           |

**【事務局】日本カリキュラム学会第22回大会実行委員会**

北海道大学大学院教育学研究院 大野栄三/研究室気付  
〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目 TEL:011-706-3100

E-Mail: [jscs22th@edu.hokudai.ac.jp](mailto:jscs22th@edu.hokudai.ac.jp)

北洋銀行 店番号 312 口座番号 3953867

加入者名 日本カリキュラム学会第22回大会実行委員会

## (2) 次期理事選挙について

事務局長より、2月6日(日)に行われた第一回選挙管理委員会について報告がなされ、以下の点について、理事会の承認を得た。併せて、代表理事選挙に関する申し合わせの改正案が提案され、承認された。

- ①選挙管理委員会委員長…澤田稔委員（上智大学）
- ②選挙権および被選挙権の確認、名簿作成の手順  
…選挙権および被選挙権の資格条件は、前年度（2010年度）の会費納入期限である2011年3月31日までに、当該年度までの会費を完納している会員。
- ③理事選挙日程…選挙案内文書 4月15日付で印刷業者を通じて会員に送付  
投票期間 4月16日～5月11日  
投票期限 5月12日（木）※国内・国外会員ともに必着  
開票日 5月15日（日）13時から
- ④選挙関連送付物について
- ⑤投票手続きについて

## (3) 会員資格の事務処理上の取り扱いについて

事務局長より、会員資格の事務処理上の取り扱いについて、下記3点の提案がなされ、いずれも承認された。詳細は、本会報内<事務局からのお知らせ>に後述する。

- ①現状の会員資格停止条件について
- ②会員総数の表示方法について
- ③新・会員資格事務処理上の区分について

## III 事務局報告

### (1) 会員現況報告

会員総数：917名（一般会員：762名、学生会員：145名、団体会員：10件）

※ うち、連絡先不明者10名、会員資格停止者159名を含む

2010年11月6日～2011年2月26日までの新規入会者は5名。新規退会者は7名。新規連絡先不明者は11名であった。

### (2) ニュースレター・2010年度会員名簿の発行

2010年12月31日に第54号Newsletterを発行した。あわせて、2010年度会員名簿を発行した。

### (3) 寄贈図書

2010年11月6日～2011年2月26日事務局到着分の寄贈図書は次表の通り。

|   | 書名   | 著者                              | 出版社         | 奥付日付            |
|---|--|---------------------------------|-------------|-----------------|
| 1 | ICT活用で授業を活性化！<br>デジタル教材かんたんレシピ   | 大西久雄・細野弘美                       | 開隆堂         | 2010年<br>6月30日  |
| 2 | 最新教育原理   | 安彦忠彦・石堂常世                       | 勁草書房        | 2010年<br>10月20日 |
| 3 | 変革を生む研修のデザイン<br>—仕事を教える人への活動理論   | ユーリア・エンゲストローム<br>(監訳：松下佳代・三輪建二) | 鳳書房         | 2010年<br>12月6日  |
| 4 | 現代アメリカ初等法関連教育授業構<br>成論研究   | 二階堂年恵                           | 風間書房        | 2010年<br>12月25日 |
| 5 | 「評価の時代」を読み解く<br>教育目標・評価研究の課題と展望（上・下）   | 教育目標・評価学会 編                     | 日本標準        | 2010年<br>12月20日 |
| 6 | 自律的な学校経営の形成と展開<br>—臨教審以降の学校経営の軌跡と展開<br>第1巻 自律的経営に向けての離陸<br>第2巻 自律的経営への離陸と展開<br>第3巻 自律的経営の展開と展望 | 中留武昭                            | 教育開発<br>研究所 | 2010年<br>12月20日 |
| 7 | [別冊]はくほう児童教育通信   | (財)博報児童教育振興会                    |             | 2010年1月         |
| 8 | シリーズ『大学の授業実践』2<br>問題形式で考えさせる   | 大田邦郎                            | 東信堂         | 2011年<br>1月20日  |
| 9 | 「多文化共生」は可能か<br>教育における挑戦  | 馬淵仁編                            | 勁草書房        | 2011年<br>2月25日  |

## — 〈 事務局からのお知らせ 〉 —

### (1) 【重要】次期理事選挙について

日本カリキュラム学会理事選挙が、下記の日程で行われます。2010（平成22）年3月31日までに当該年度分までの年会費を完納している会員の皆様に、選挙案内文書を発送いたします。より多くの会員の皆様にご投票いただけますよう、お願い申し上げます。

投票期間 4月16日～5月11日

投票期限 5月12日（木） ※国内、外問わず必着

### (2) 【重要】会員資格の事務処理上の取り扱いについて

<理事会報告>内にも記載しました通り、事務局における会員資格の取り扱いを、下記の通り改定いたします。現状との大きな変更点は、①従来の会員資格停止条件としていた「4年連続未納」ないし「4年間分未納」を、「4年間分未納」に統一すること、②新たに「会員資格停止者」と「強制退会者」の区別を設け、会費未納者への対応に段階を設けること（具体的には、新「会員資格停止者」の条件を「年会費2年間分未納」、新「強制退会者」の条件を「年会費4年間分未納」とする）、です。

これにより、会費未納者に対して送付されていた発行物の部数削減を行うことができます。学会員の皆様には、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、これら会員資格の見直しと合わせて、従来、会報等に掲載する「会員総数」には、会員資格停止者数を含む形で報告してまいりましたが、今後はより学会の実態に沿うよう、会員資格停止者を含まない形でご報告させていただくこととなりました。(次号より実施)

| (理事会申し合わせ)     | 会員処理について   |
|----------------|--|
| 第一項 「不明者」      | 学会からの会員各位への発行物(紀要、会報等)が「転居先不明」などで事務局に返送された場合、事務局にて以下の手続きを取る。<br>i) 発送先住所の変更(自宅住所⇔所属先住所)<br>ii) 再度返送されてきた場合、会員のメールアドレスに確認連絡<br>iii) さらに連絡が取れない場合、「不明者」扱いとし、発行物の発送停止 |
| 第二項 「会員資格停止者」  | <b>年会費 2 年間分未納が確認された場合、会員資格を一時停止</b> する。会員資格停止者は以下の権利を一時的に喪失する。<br>i) 発刊物を享受する権利<br>ii) 名簿へ名前を掲載する権利<br>未納分の年会費を完納した場合に限り、会員資格を取り戻すことができる。                         |
| 第三項 「強制退会者」    | 会則第 9 条の 2「会費の納入を怠った場合は、会員としての資格を失うことがある。」の文言にもとづき、 <b>年会費 4 年間分未納が確認された場合、会員資格を剥奪</b> する。   |
| 第四項 「(自主) 退会者」 | 退会を申し出た会員には、会費の完納を確認し、これを受理する。   |

※重要事項、下線・**太字**

### (3) 会員情報変更のご報告のお願い

年度の変わり目となり、所属先等の会員情報変更が多くなっていることと思います。会員情報にご変更があった際は、お手数おかけいたしますが、何卒、学会事務局までご報告をお願いいたします。

〒980-8576

仙台市青葉区川内 27-1

東北大学大学院教育学研究科内

日本カリキュラム学会 事務局

TEL&FAX : 022-795-3755

振替口座番号 : 00880-0-69090

E-mail:jscs@nifty.com

URL : <http://homepage3.nifty.com/jscs/>